

泊発電所3号炉 ヒアリングコメント回答リスト

(有効性評価 7.3.2 想定事故2)

泊発電所3号炉審査資料	
資料番号	資料6-3
提出年月日	令和5年4月18日

ID	No	コメント内容	ヒアリング日	対応状況*	回答完了日	回答概要	資料反映箇所	積み残し事項の回答予定時期
221220-08	1	PPT9ページ) 解析条件の初期水位が-1.35mであることを図中に明記すること。  【第427回ヒアリング 有効性評価の事実確認 (7.3.1 想定事故1、7.3.2 想定事故2) について】	R4.12.20	回答済	R5.1.31 ヒアリング	想定事故2の概略図において、初期水位がNWL-1.35mである旨、明記した。	第444回ヒアリング 資料1「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価「想定事故1」「想定事故2」」 p.12  第444回ヒアリング 資料3-1「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.6.0)」 p.7.3.2-24  第444回ヒアリング 資料3-2「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.6.0)」 p.30	
221220-11	2	PPT9ページ) 解析条件の初期水位が-1.35mであることを図中に明記すること。  【第427回ヒアリング 有効性評価 7.3.2 想定事故1について】	R4.12.20	回答済	R5.1.31 ヒアリング	想定事故2の使用済燃料ピット水位概略図にサイフォンブレーカ及び想定する破断箇所を明記した。	第444回ヒアリング 資料1「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価「想定事故1」「想定事故2」」 p.12  第444回ヒアリング 資料3-1「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.6.0)」 p.7.3.2-24  第444回ヒアリング 資料3-2「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.6.0)」 p.30	
221220-27	3	PPT9ページ) 図中に、サイフォンブレーカー、想定する破断箇所を明記すること。  【第427回ヒアリング 有効性評価 7.3.2 想定事故1について】	R4.12.20	回答済	R5.1.31 ヒアリング	記載の適正化を行った。	第444回ヒアリング 資料3-1「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.6.0)」 p.7.3.2-15  第444回ヒアリング 資料3-2「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.6.0)」 p.19	
221220-28	4	添付資料7.3.2.1) 泊が「定期的(1回程度/週)」として、伊方が「定期的(1回/週)」としている差異について考察し、記載の適正化を行うこと。	R4.12.20	回答済	R5.1.31 ヒアリング	泊の運用を確認し、記載の適正化を行った。 「定期的(1回程度/週)」⇒「定期的(1回/週)」	第444回ヒアリング 資料3-1「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 7.3.2 想定事故2 (SAE732 r.6.0)」 p.添7.3.2.1-3  第444回ヒアリング 資料3-2「泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 比較表 7.3.2 想定事故2 (SAE732-9 r.6.0)」 p.添7.3.2.1-3	
221220-29	5	最新審査実績に比べて泊の特徴的な以下の事項について、補足の説明を行うこと。 ・PWRで使用済燃料ピットがAとBに分かれている設計思想について、確認して説明すること。 ・補助給水の流量が少ない ・Taveが高い	R4.12.20	本日一部説明		6. 基本的考え方の添付資料6.5.8に補助給水の流量が少ないこと、Taveが高いことの説明を追記しました。 泊の使用済燃料ピットがAとBに分かれている設計思想に関しては次回説明予定。	(R5.4.11) 資料5-1『泊発電所3号炉 重大事故等対策の有効性評価 6. 重大事故等への対処に係る措置の有効性評価の基本的考え方 (SAE6 r.6.0)』 P.添6.5.8-1~2 ■添付資料6.5.8 別紙5	2023年5月

\*: 検討状況・方針等のみをご説明の場合は、「一部説明」という用語で識別する。